



四国四県議団で 政府・省庁交渉

●昨年12月26日、参議院会館で、白川よう子・党四国ブロック国政対策委員長(香川県議)を先頭に、四国の党県議が勢ぞろいして政府交渉を行いました。仁比そうへい参議員、松本けんじ衆議院高知一区予定候補も同席しました。

南海トラフ巨大地震対策、四国の交通体系の整備、地場産業や第一次産業の振興、伊方原発の再稼働中止と再生可能エネルギーの導入拡大を午前中に要請。



午後からは、乳幼児医療費助成制度、国民健康保険や介護保険の改善、さらにオスプレイの墜落事故、四国沖での今月7日のFA18戦闘機の墜落事故問題、子どもの貧困対策、特別支援学級の定数改善など多岐にわたって申し入れをしました。

特別支援学級 通級を定数化

●現在、障害区分別の1学級は8人が基準。しかし、普通学級から通級する児童数は含まれておらず、毎年、不確実な加配で対応しています。

文科省担当者が「通級指導にあたる教員を基礎定数化します」と答弁。不確実・不安定な加配対応が基礎定数化になる事で、来年度は少し手厚い指導が可能となります。

無料法律・生活相談

- 2月13日(月)午後6時～8時
- 場所：愛宕商店街 吉良事務所
- 血田幸憲弁護士(よつば法律事務所)

問合せ：088-855-9439

お気軽にご相談下さい



オンラインにやんでも通信

感・喜びも半分の感。空き店舗対策、商店街活性化策に加え、年々老朽化するアーチとアーケードの維持管理への対応は依然大きな課題です。

2年越しで要望をしてきた愛宕商店街振興組合の小野代表理事(喫茶アイランド)は「120店舗あった店が今は35店舗。今後十年間で10店舗がやめる意向」と、安堵

「正式に、来年度から免除する事が決まりました」と県道路課から報告をいただきました。

●本ニュース十一月二十七号でお伝えしていただきました路占用料について先日



愛宕商店街アーケード 県が道路占用料免除へ